

件名:

ぎふの木ネット メルマガ 59 本配信!送信完了のご連絡



ぎふの木ネットメルマガ No.59

今月号の インデックス はこちら

[岐阜県産材流通課からのお知らせ](#)

岐阜県住宅課からのお知らせ

岐阜県森林活用推進課からのお知らせ

年間スケジュール

非住宅建築と木質内装展

木材・住宅業界 これから どうなる どうする？

ぎふの木ネット協議会会員ページ リニューアル

東海地区新設住宅着工統計

岐阜県県産材流通課からのお知らせ

岐阜県で現在実施されている支援事業をご案内させていただきます。

岐阜県では、住宅を新築または改修する際、岐阜県産材の構造材、内装材使用量に応じて施主に助成を行っています。

詳しくは岐阜県のホームページをご覧ください ⇒ [岐阜県ホームページはこちら](#)

令和6年度 ぎふの木で家づくり支援事業

ぎふの木をつかった住宅の新築・改修に助成します

岐阜県産の木をつかった家で、心も体も健康に暮らしてみませんか？

【補助内容】
 断内断外タイプ 300㎡
 断外断内タイプ 60㎡
 断内断内タイプ 30㎡

脱炭素社会ぎふモデル住宅普及事業費補助金の併用が可能です。金利も引き下げられる「フラット35地域連携型」も利用できます。

豊かな森林を未来に引き継ぐために
 岐阜県産の木をつかって、岐阜県産の森林を守り育てる

岐阜県産の木は、育つまで大切に育てられ、伐採後には再利用可能な材料として活用されています。また、木材の良さを活かして、健康で快適な暮らしを実現するための工夫が凝らされています。

項目	補助率	対象となる補助額	申請要件	申請先
断内断外タイプ	30%	最大20万円	① 新築物件の補助率30%以上、かつ、補助率30%以上の物件に該当すること ② 補助率30%以上の物件に該当すること ③ フラット35地域連携型を利用すること	岐阜県建設部
断外断内タイプ	30%	最大20万円	① 新築物件の補助率30%以上、かつ、補助率30%以上の物件に該当すること ② 補助率30%以上の物件に該当すること ③ フラット35地域連携型を利用すること	岐阜県建設部
断内断内タイプ	30%	最大14万円	① 断内断内タイプの物件に該当すること ② 補助率30%以上の物件に該当すること ③ フラット35地域連携型を利用すること	岐阜県建設部

【手続きの流れ】
 1. 申込書提出 → 2. 審査・選定 → 3. 補助金交付
 4. 補助金返付 → 5. 事業終了

【助成内容一覧】
 1. 断内断外タイプ 最大20万円
 2. 断外断内タイプ 最大20万円
 3. 断内断内タイプ 最大14万円

岐阜県建設部 TEL:058-272-6493

パンフレットはこちら ⇒ [令和6年度 ぎふの木で家づくり支援事業](#)

岐阜県住宅課からのお知らせ

脱炭素社会ぎふモデル住宅普及事業費補助金について

岐阜県住宅課から案内されている補助事業を案内させていただきます。

こちらは岐阜県内で省エネ住宅を取得する個人に対して、40万円を補助するものです。

※こちらの補助事業は「ぎふの木で家づくり支援事業」との併用が可能です。

詳しくは岐阜県のホームページをご覧ください

⇒ [岐阜県の脱炭素社会ぎふモデル住宅普及事業費補助金ページはこちら](#)

岐阜県森林活用推進課からのお知らせ

岐阜県で、G-クレジットを通して県の森林づくりに寄与する企業等を募集されています。

くわしくは岐阜県のホームページをご覧ください ⇒ [G-クレジットの森・応援パートナー募集のページはこちら](#)

G-クレジットの森・応援パートナー募集！

G-クレジットの森・応援パートナーになって
岐阜県と一緒に森林づくりを進めませんか

G-クレジットの森・応援パートナー登録制度とは？

G-クレジットの購入や普及啓発活動に取り組む方々を、岐阜県の森林づくりを応援するパートナーとして、県が登録・公表する制度です。

登録を受けると・・・

- 県から「登録証」をお渡しします。
- 県がホームページ等で、登録者及びその取組内容を公表・PRします。
- 県から普及啓発資料を提供します。



パートナーの登録要件

- 次のいずれかもしくは両方を宣言した法人、団体及び個人事業主
- 5年にわたり毎年5t-CO₂以上のG-クレジットを購入
 - 5年にわたり毎年G-クレジットの普及啓発を実施
- ※登録有効期間は5年間です。登録の延長には再申請が必要です。
※登録費用は無料です。

注意事項 虚偽又は不正な手段による登録、重大な法令違反又は取組内容について実態がない等の事実が判明した場合は、登録を取り消すことがあります。

随時募集中！ 登録申請はコチラから

問い合わせ先 岐阜県 林政部 森林活用推進課 森林吸収源対策室
TEL：058-272-1111（内4349）
Mail：c11513@pref.gifu.lg.jp



G-クレジット制度

「脱炭素社会ざふ」・森林吸収量認証制度（G-クレジット制度）とは、岐阜県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度です。県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を「クレジット」として県が認証します。

制度の目的

クレジットの取引で得られた資金を活用し、健全で豊かな森林づくりを進めることで、森林の二酸化炭素吸収量を維持・増大させるとともに、社会全体に環境保全活動を広げることで「脱炭素社会ざふ」の実現を目指しています。

クレジットの購入方法

- 売りたい方（林業事業者等）と買いたい方（企業等）との相対取引（直接取引）が基本です。
- クレジットの情報は、G-クレジット制度運営事務局のウェブサイトに掲載します。

令和6年度 本格スタート

- 1t-CO₂単位で購入できます。
- 県内外のどなたでも購入可能です。
- 転売はできません。（有効期限はクレジット購入から5年）

クレジットの活用方法

- **地域貢献**
事業所や工場等の所在地域や、その上流域にある県内の森林づくりを応援
- **カーボン・オフセット**
事業活動や、会議・イベント開催で排出される温室効果ガスをオフセット
製造などの過程で排出される温室効果ガスをオフセットした製品やサービスの提供
- **地球温暖化防止及び気候変動適応基本条例（県温対条例）の報告**
県温対条例に基づく温室効果ガス排出削減実績の報告
- **県発注工事の工事成績評価において評価**
G-クレジットを5t-CO₂以上購入し、地域の森林づくりに貢献した場合、「社会性等（地域への貢献等）」において評価
（※）令和6年4月1日以降に契約し、令和6年9月1日以降に完成検査を行う県（農政部、林政部、県土整備部及び都市建設部）が発注する工事
※ 地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）の温室効果ガスの排出量の報告には活用できません。

問い合わせ先

G-クレジット制度運営事務局
【受付時間】平日（月～金）9:00～17:00
【連絡先】TEL：058-201-5112
E-mail: gcredit-gifu@pref.gifu.lg.jp

事務局
ウェブサイト



【制度管理者】岐阜県 林政部 森林活用推進課 森林吸収源対策室 TEL：058-272-1111（内4346）

チラシダウンロードはこちら ⇒ [G-クレジットの森・応援パートナー募集！](#)

年間イベントスケジュール

5/23-24 非住宅提案イベント 「非住宅建築と木質内装展」

WEB申込み ⇒ [申し込みはこちら](#)

- 7 / 1 2 ぎふの木ネットフォーラム
 会場：岐阜グランドホテル
- 1 1 / 2 9 ぎふの木ネットフォーラム
 会場：岐阜グランドホテル

非住宅提案イベント「非住宅建築と木質内装展」

丸太からものづくりを考える無垢メーカーと、最新技術を取り入れる機能建材メーカーがコラボレーションし、SDGs・カーボンニュートラルを叶えるこれからの木質空間を提案します。

※ご出展いただく企業様が増えました

- 岐阜県木材協同組合連合会 様
- 有限会社基信 様

<イベントの詳細>

日にち：5月23日(木)・24日(金)

時 間：9：00 ～ 16：00

会 場：板蔵ファクトリー株式会社

場 所：〒501-0224 岐阜県瑞穂市稲里88-1

イベントWEB申込み ⇒ [WEB申し込みはこちら](#)

なお来場者プレゼントがございます



非住宅建築と 木質内装展

無料セミナーも開催いたします！

2024
5/23[木]・24[金]
9:00～16:00

丸次からものづくりを考える職匠メーカーと、最新技術
をとり入れる機能建材メーカーがコラボレーションし、
SDGs・カーボンニュートラルを叶えるこれからの木質
空間を提案します。

会場

板蔵ファクトリー株式会社

〒501-0224 岐阜県瑞穂市稲屋88-1
TEL 058-322-2511



機能建材

地域材・木材・建築全般

銘木・造作工場

DAIKEN

×

住宅資材総合商社
ヤマガタヤ産業株式会社

×



板蔵ファクトリー
ITAZURA FACTORY

大建工業株式会社・ヤマガタヤ産業株式会社・板蔵ファクトリー株式会社・簡商事株式会社
江崎県ウッドベース株式会社・株式会社住宅あんしん保証・ダイキン工業株式会社・YKK AP株式会社

出展メーカーさま一覧



木材・住宅業界 これから どうなる どうする？

現在、木材・住宅業界共に大変苦戦をしています。

今迄の歴史を振り返ってみても住宅業界の良いときはその影響で木材需要も拡大しており、木材・住宅業界共に相関関係を有していましたが、果たしてこれから先は？



県内の住宅着工はどんな推移？

	23年前	18年前	15年前	5年前	3年前	昨年
	平成13年	18年	21年	令和元年	3年	5年
持家	7,720	7,756	6,448	6,160	6,066	4,868
貸家	6,485	5,547	4,363	2,929	2,919	2,449
給与住宅	121	296	48	59	6	58
分譲住宅	2,230	2,132	1,167	2,853	2,373	2,175
	16,606	15,731	12,026	12,001	11,364	9,550

昨年 岐阜県新築着工は初めて1万戸を割り込みました。

(昨年度比)	23年前	と比べ	15年前	5年前
持家	63%		75%	79%
貸家	38%		56%	84%
分譲	98%		+186%	+131%
合計	58%		79%	80%

ポイント

岐阜県内の新設住宅の落ち込みは昨年度前年比12.7%ダウンで全国平均4.6%ダウンより大きく下回っている。特に持ち家は毎年着実に減っており23年比に比較して37%ダウンしており、毎日2%弱ダウンしている。

ただ分譲住宅だけは23年前に比較しても2%ダウンにとどまっている。

このペースで持ち家が減少すれば10年後つまり令和16年には、**4,000戸割れ**が視野に入ってくる。また、ここ数年の推移をみても分譲系ビルダーは躍進しているが、特に20棟未満の工務店の落ち込みが目立つ。



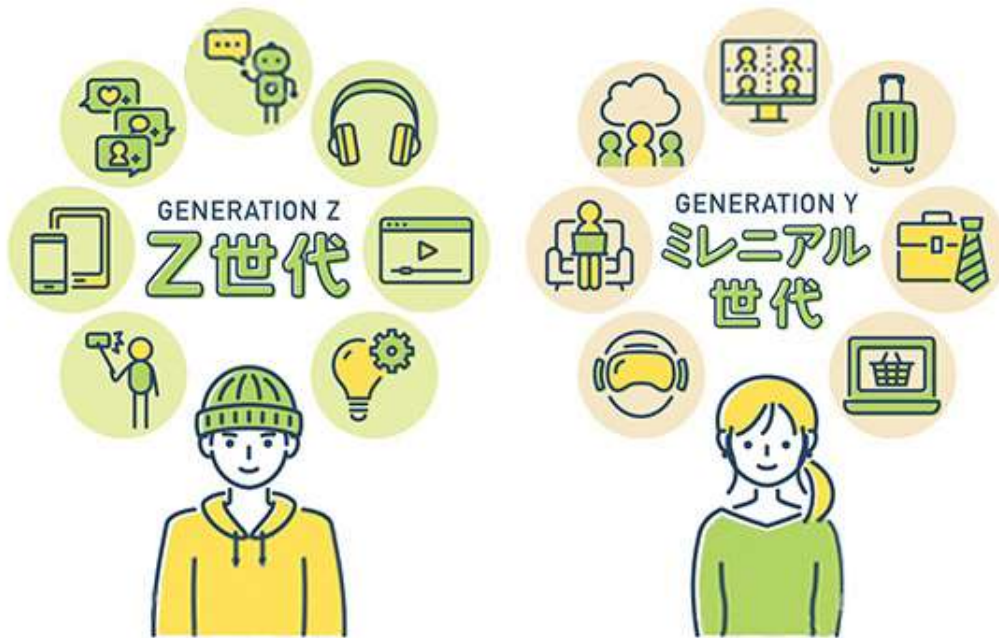
今後の時代背景を重ねると

	新設住宅着工	人口	65歳以上	空き家
2023年	81.9万戸	1.25億	30%	850万戸
2030年	70万戸	1.15億	↓	↓
2033年	↓	↓	↓	2,000万戸
2035年	60万戸	↓	35%	
2040年	50万戸	↓		
2055年		1億割れ		

移民政策でもとらない限り出生率低下はどんどん進み2023年出生数は72.6万人で（▲5.8%）1.2ほどの出生率であり、婚姻数も前年▲5.8%で大きく下振れ。半面65才以上の高齢者が増え、少子高齢化の影響が顕著に出てきそうである。さらに特筆すべきは空き家が大きく増え10年後には**2,000万戸突破**で今からしっかりした対策が求められる。

エンドユーザーの価値観の変化

世帯構成の変化により、メインターゲットとしてきた「夫婦+子供世帯（4人）」は減少。単独世帯や夫婦のみ世帯をターゲットとしたコンパクト住宅や二世帯型住宅の提案も求められると考えます。



一次取得者層の意識変化

住宅の一次取得者層の大部分を占める30歳台の平均年収や金融資産は大きく減少し、新築住宅にこだわる層は減少し、中古住宅へのシフトもみられる。

特に近年のインフレ傾向により住宅価格も15～20%位上昇しており、よりハードルが高くなっている。

	ミレニウム世代 (1980～90年生まれ)	Z世代 (1990年半ば～2010年生まれ)
時代背景	ぎりぎりバブル景気を経験	好景気を知らず 安定志向のリアリストが多い
購買行動	体験に価値を求める 「コト消費」を好む	よりパーソナライズされた「コト」 「モノ」消費を好む。ブランドにはあまり興味なし
デジタル度	社会のデジタル化と共に育った (デジタルパイオニア)	生まれた時からデジタル環境が当たり前の「デジタルネイティブ」



最近の住宅取得の傾向

事前検討

インターネットで徹底的に研究

<デジタル接点>

<顧客体験>

<最後のツメは人>

住宅価格高騰

予算重視で失敗したくない

- SNS、ホームページの充実
コンテンツで顧客を魅了、育成
- 来場の為の顧客体験の仕組み
対面誘導・・・モデルハウス・ショールーム等
- デジタルだけで受注獲得はできない
人で信頼・共感を獲得する

住宅会社を見つける方法

	令和元年	令和4年
住宅展示場で	52.5%	47.2%
インターネットで	18.9%	41.6%
知人等の紹介	24.9%	24.0%



しかし追い風も多少感じます

- 全体的な意識変化
- 脱炭素化への意識変化
(CO2 排出権取引 J クレジット)
 - 木質化への流れ
 - フードロスやウッドロスへの関心
 - 持続可能性や環境問題への関心
等

時代は大きな激流のように大きく動いています。



現時点でのまとめ

どうなる	どうする
当面 工務店・地域ビルダー・ハウスメーカーの大競争時代（突入）	25年の4号特例見直しや省エネ基準義務化のハードルをまずクリア
新しい需要が、単身者向け・夫婦向け ⇒ コンパクト住宅・二世帯型住宅・富裕層向けのこだわり住宅	セミオーダー型住宅開発やこだわり住宅の受注支援システム
2024年 物流問題や残業規制が引き金となり 更なる納期遅れや、コストアップ	物流費のコストアップをおさえる為のコスト意識徹底と新しい物流システム（配送回数減少や効率的な配達ルート）
耐震化とエネルギー問題が大きなテーマとなる	耐震のみならず制震への移行も考慮し、また省エネや再生エネルギー使用を前提とした様々なパッケージ化が必要
花粉症対策として10年後に花粉発生源となる杉人口林2割減少させる	杉材の有効利用 （内装材、構造材使用拡大の為の商品開発）
社会問題化する空き家対策 → 大きなビジネスエンジンとして利用 非住宅・オフィスの木質化が加速	空き家にしない工夫 空き家リフォーム、有効活用 グリーンリノベ部会にて 非住宅部会設立として パッケージ化・新工法 相談窓口 等 銘木等利用の独創的、アートの空間創造

ざっと現在思いつく点はこんな感じですが、今年度ぎふの木ネットでは、年内**7月と1月にフォーラムを予定**しており、来年度大きく変わる**構造**や**断熱基準**等の問題を取り上げます。さらに、専門家を交えた形で、**各部会を複数スタートさせ、ビジネス化**に取り組みます。

スピードと実行力がテーマです。

ぎふの木のチカラで地域の活性化 ぜひ一緒に

ぎふの木ネット協議会会員ページ リニューアル

ぎふの木ネット協議会会員のみなさまには日頃より、協議会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

この度協議会ホームページより**会員ページ**への入り口が分かりやすくなりました。

現在はパスワード無く、普通の情報が閲覧できます。

また、トップページでは「ぎふの木ネット仕様で建てられたお家」の木材使用量と炭素貯蔵量を年度更新して表示しています。



東海地区新設住宅着工統計

【中部地区新設住宅着工統計】

2024年3月	総数	前年比	一昨年比	持家	前年比	一昨年比
愛知	5,826	136.1%	108.5%	1,241	107.0%	94.8%
岐阜	733	80.5%	87.4%	358	91.8%	87.1%
三重	635	79.1%	66.6%	352	100.6%	86.7%
静岡	1,598	96.5%	92.3%	577	80.5%	68.0%
東海四県計	8,792	114.9%	98.9%	2,528	96.6%	85.0%
名古屋	3,116	174.2%	124.5%	232	87.2%	84.4%

【ひとこと】

2024年3月の新設住宅着工は、貸家、持家及び分譲住宅ともに減少したため、全体で前年同月比12.8%の減少となりました。

新設住宅着工数は64,265戸です。

利用関係別で見ますと、

持家95.2%、貸家86.6%、分譲住宅83.2%（うち分譲マンション78.9%、分譲戸建87.3%）
です。

また、東海四県（愛知、岐阜、三重、静岡）では
総数114.9%、持家96.6%、貸家107.4%、分譲住宅151.6%
（うち分譲マンション288.6%、分譲戸建87.7%）です。

ぎふの木ネットより CCN特別プランのご案内

協議会より会員さまへお得なご案内です

今回ぎふの木ネット協議会にケーブルテレビ局のCCN様が入会されました。

CCN様より、ぎふの木ネット協議会会員さまに向けたお得な特別プランを用意いただいております。

もしインターネット+テレビの契約について検討されている場合は、ご検討ください。

一般には掲示のないプランで**5年間最安値**と伺っております。

価格情報

サービス	1年目	毎月2,640円
	2～5年目	毎月4,290円
	6年目以降	毎月5,940円（正規金額へ戻る）

※価格はすべて税込み

- 機器レンタル：無料 WiFiルーター2台プレゼント（メッシュWiFi対応）
- キャッシュバック1万円（ぎふの木ネット会員様専用）
- 別会社の為、NHK受信料は含まれておりません。
- 携帯電話割引各社取り扱い中。

詳しくはご担当窓口さまへご連絡いただくか、事務局へご連絡ください

シーシーエヌ株式会社

ご担当：係長 重田 彩生（シゲタ サイ）様

<tel:058-268-2300>

